

平成20年3月期  
第3四半期決算説明会資料

平成20年2月29日  
アルゼ株式会社 (JQ:6425)

# 【目次】

## 【Ⅰ】平成20年3月期 第3四半期連結決算概要

- ① 第3四半期連結決算のハイライト
- ② 要約連結損益計算書
- ③ 要約連結貸借対照表

## 【Ⅱ】通期業績予想の上方修正について

## 【Ⅲ】事業の現況と今後の展望

- ① パチスロ/パチンコ事業
- ② 海外カジノ向けゲーミング機器事業
- ③ カジノホテル運営事業
- ④ 第4四半期以降のトピックス

## 【Ⅳ】ご参考:会社概要

### 免責事項

本資料には当社及び関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断、及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況等その他の様々な要因により、上記詳細に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知下さい。

# 【 I 】平成20年3月期 第3四半期連結決算概要

# ①第3四半期連結決算のハイライト

前年同期比で大幅増収増益、黒字幅を拡大

○売上高 62,998百万円(前年同期比+32,349百万円)

増加要因 パチスロ機販売台数増加

○営業利益 15,421百万円(前年同期比+14,211百万円)

増加要因 原価率の低下(45.4%⇒44.2%)による売上総利益増加

○経常利益 21,180百万円(前年同期比+24,697百万円)

増加要因 営業外収益の増加(ウィン・リゾーツへの持分法による投資利益5,488百万円)

○当期純利益 21,594百万円(前年同期比+8,186百万円)

## ②要約連結損益計算書

単位:百万円

科 目	H19.3期 通期	H20.3期 第3四半期	H19.3期 第3四半期	前年同期比		
				差異	増減率	主な増減要因
売上高	35,580	62,998	30,648	32,349	105.6%	パチスロ機販売台数増加による
売上原価	17,743	27,854	13,923	13,931	100.1%	原価率の低下 (45.4%⇒44.2%)
売上総利益	17,837	35,143	16,724	18,418	110.1%	
販売費及び一般管理費	21,043	19,722	15,515	4,207	27.1%	
営業利益又は営業損失(△)	△3,205	15,421	1,209	14,211	1,175.5%	
営業外収益	347	6,100	175	5,924	3,385.7%	ウインの持分法利益
営業外費用	3,905	341	4,902	△4,561	△93.0%	
経常利益又は経常損失(△)	△6,764	21,180	△3,516	24,697	—	
特別利益	22,965	6,092	19,547	△13,455	△68.8%	子会社の固定資産売却による
特別損失	4,809	1,378	1,743	△365	△21.0%	
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	11,391	25,895	14,287	11,608	81.2%	
税金費用	2,466	4,436	765	3,671	479.5%	利益増加による
少数株主損益	△244	△136	112	△249	—	
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	9,169	21,594	13,408	8,186	61.1%	
1株当たり四半期(当期)純利益 又は純損失(△) [円]	114.76	270.19	167.81	102.38	61.0%	

### ③ 要約連結貸借対照表

#### ① 資産

単位:百万円

科 目	H19.3期 通期
流動資産	86,043
現金及び預金	21,041
有価証券	18,108
固定資産	85,612
有形固定資産	27,078
投資その他の資産	57,528
資産合計	171,681

H20.3期 第3四半期	H19.3期 第3四半期	前年同期比		
		差異	増減率	主な増減要因
109,811	77,000	32,811	42.6%	
20,506	23,450	△2,944	△12.6%	有利子負債圧縮
18,225	—	18,225	—	ウイン配当(06年12月)運用
79,766	103,065	△23,298	△22.6%	
20,552	29,579	△9,026	△30.5%	不動産売却
57,648	72,371	△14,723	△20.3%	
189,601	180,110	9,491	5.3%	

#### ② 負債・純資産

単位:百万円

科 目	H19.3期 通期
流動負債	44,538
短期有利子負債	20,033
固定負債	10,528
長期有利子負債	7,305
負債合計	55,067
株主資本	113,465
評価換算差額等、新株予約権、少数株主持分	3,148
純資産合計	116,614
負債純資産合計	171,681

H20.3期 第3四半期	H19.3期 第3四半期	前年同期比		
		差異	増減率	主な増減要因
48,408	36,659	11,749	32.0%	
4,045	11,097	△7,051	△63.5%	短期借入金返済
9,123	22,924	△13,800	△60.2%	
6,279	19,435	△13,156	△67.7%	社債、長期借入金減少
57,532	59,583	△2,051	△3.4%	
131,157	117,698	13,459	11.4%	利益剰余金増加
911	2,828	△1,917	△67.8%	為替換算調整勘定、少数株主持分減少
132,068	120,527	11,541	9.6%	
189,601	180,110	9,491	5.3%	

## 【Ⅱ】通期業績予想の上方修正について

# 連結業績予想修正とその内容

## 1. 連結業績予想修正

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A) (平成19年11月26日)	65,000	10,400	10,000	6,000
<b>今回修正(B)</b>	<b>73,400</b>	<b>13,700</b>	<b>20,700</b>	<b>27,000</b>
増減額(B-A)	8,400	3,300	10,700	21,000
増減率(%)	12.9%	31.7%	107.0%	350.0%
(ご参考)前年度実績 (平成19年3月期)	35,580	△3,205	△6,764	9,169

## 2. 個別業績見通し

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	—	—	—	—
<b>今回修正(B)</b>	<b>61,500</b>	<b>9,500</b>	<b>10,000</b>	<b>7,500</b>
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
(ご参考)前年度実績 (平成19年3月期)	32,033	△4,369	△4,635	△10,122

## 連結業績予想修正の内容

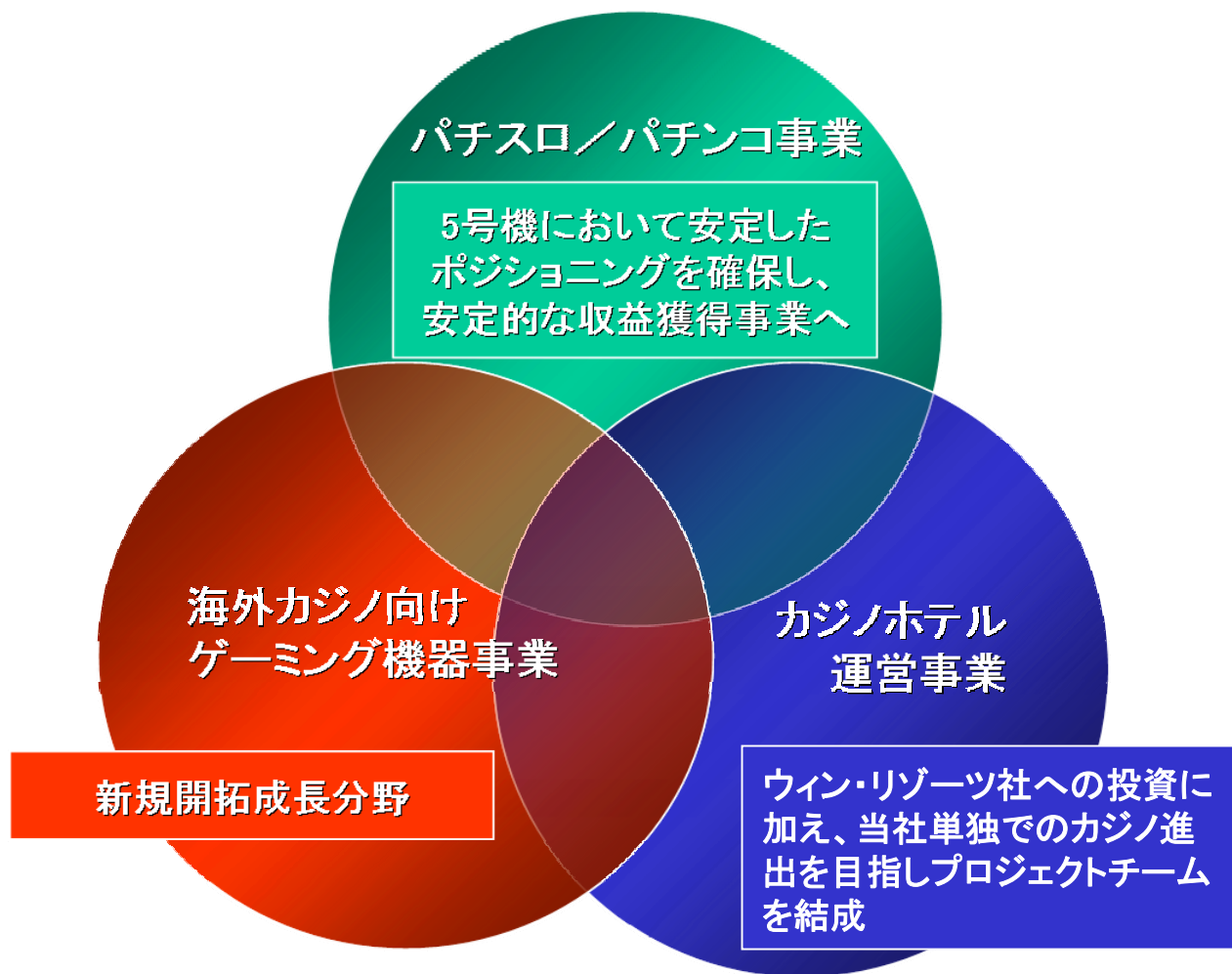
- 売上高・営業利益  
パチスロ機の販売、レンタル設置の構成比率増(販売台数は200千台の見込み)
- 経常利益  
ウィン・リゾーツ社への投資にかかる持分法による投資利益として営業外収益6,900百万円計上見込み
- 当期純利益
  - ①特別利益  
ウィン・リゾーツ社の増資による当社の株式持分低下(24.1%→21.5%)に伴い、みなし売却益14,000百万円発生見込み
  - ②特別利益  
子会社の固定資産譲渡による売却益を3,600百万円計上
  - ③特別損失  
ウィン・リゾーツ社の自己株式取得による持分法投資損失、棚卸資産処分損等、3,900百万円発生見込み
- 第4四半期の見通し  
第4四半期は売上10,400百万円を見込むも、販管費を保守的に見積もり、営業利益は若干の損失となる見通し



## 【Ⅲ】事業の現況と今後の展望

# 【アルゼの長期ビジョン】

～グローバルエンターテインメント企業へ～



# ①パチスロ／パチンコ事業（営業）

◆第4四半期に新タイトル2機種を市場投入し、通期目標200千台達成は確実に

◆新チャレンジプランによるパチンコホール様の負担を軽減

## パチスロ機発売タイトル

1. 青ドン 90千台

2. スーパーキューティーハニー

3. ラブリーチェリー

4. ゲッターマウス7R

5. ちょいスゴ！！

アリババインファンタジア

6. 赤ドン 60千台

7. ウルトラキューティーハニー

8. リーチ目発見！スロガッパ

発売時期

平成19年6月

平成19年7月

平成19年9月

平成19年11月

平成20年2月



・第3四半期までの累計販売台数178千台、達成率89%

・青ドン、赤ドンの2機種が大ヒット

・第4四半期で通期目標200千台は達成確実

## パチンコ機発売タイトル

1. CRサンダーVSP

2. CRサンダーV150

発売時期

平成19年7月

# ①パチスロ／パチンコ事業（開発）

## 1. パチスロ事業

### 【現状】

- 「青ドン」(9万台)、「赤ドン」(6万台)のヒット ⇒ 3～4年の不振から脱出
- 業界屈指の開発体制(約350人) ⇒ 競争優位性のある製品を**安定的**に開発・供給
- 他社と差別化した戦略的な製品開発 ⇒ 新たなチャレンジで業界スタンダードを創出
- 多数の適合機種(2月末時点で11機種)による豊富な製品ラインナップ構成  
⇒ 今後の製品開発に関して**大きなアドバンテージ**となる

### 【今後】

- 1タイトル当りの製品力強化 ⇒ 全体的な製品クオリティの向上(仕様、演出、リール制御等)
- コンセプトの異なる筐体によるブランド戦略  
⇒ 多様なユーザー層を取り込むために製品ジャンル・ラインナップの充実
- マーケティング力の強化(ユーザー特性の分析、遊技環境の分析、スペック分析、コンテンツ分析等) ⇒ ユーザー、ホールのニーズにあった製品開発・供給

# ①パチスロ／パチンコ事業（開発）

## 2. パチンコ事業

- 7号事業の収益の安定性確保には、パチンコ事業の確立が不可欠
- 来期はパチンコメーカー「アルゼ」としての基盤構築、路線（方向性）の確立を目指す
- 開発体制を強化、安定した製品の供給でシェア拡大を狙う
- 新規性のある高付加価値なパチンコを開発していく

## ②海外カジノ向けゲーミング機器事業

### ◆米国を中心とした海外3拠点を軸にしたグローバルな事業展開とアジア市場への販売体制

1. 北米市場
2. 南アフリカ市場
3. オーストラリア市場
4. アジア市場

### ◆新筐体の市場投入と新タイトルの開発強化

新筐体G-enex、G-waveの市場投入

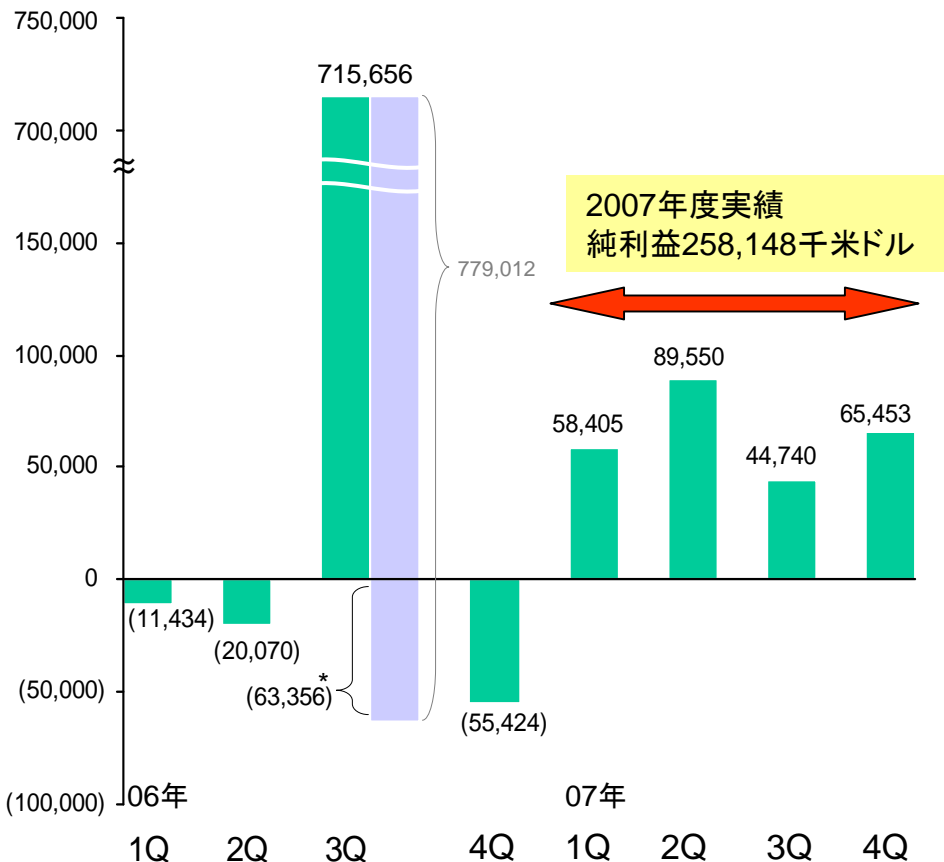
### ◆AGA(アルゼゲーミングアメリカ)の資本力の増強

本格的事業推進を図るため、現状の資本金を倍増させる増資も検討

# ③カジノホテル運営事業

## Wynn Resortsの純利益の推移

(単位: 千ドル)



06年3Qはサブライセンス売却に伴う特別配当(約160億円)実施  
サブライセンスの売却益(899,409千ドル)を除外すると実質的には63,356千ドルの赤字

07年1Qから黒字転換し、その後は高単価、高稼働率に支えられ継続して利益計上

07年3Qも前年に続き配当実施の決議  
配当金(約160億円)は12月中旬に受領

		07年	1Q	2Q	3Q	4Q
ラスベガス	ウイン・ラスベガス	平均客室料	\$310	\$311	\$282	\$298
		客室稼働率	96.2%	97.0%	96.6%	94.3%
	ラスベガス平均	平均客室料	\$135	\$142	\$129	\$122
		客室稼働率	89.9%	92.6%	91.5%	87.5%
マカオ	ウイン・マカオ	平均客室料	\$245	\$258	\$245	\$256
		客室稼働率	84.8%	86.2%	91.9%	92.4%
	マカオ平均	平均客室料	\$86	\$82	\$88	\$109
		客室稼働率	74.0%	73.4%	77.4%	82.7%

(マカオの平均客室料は、1パタカ=0.1245米ドルで換算。)

2007年度実績は純利益258,148千ドル  
当社は持分法投資利益として6,900百万円を  
経常利益に計上見込み

\* 営業権サブライセンス売却益控除後税引前純利益

## ④第4四半期以降のトピックス

### ■ 期末配当予想の修正について

通期業績予想の大幅な上方修正に伴い、期末配当予想を60円に増額  
(前期も期末配当を20円の予想から50円の実績配当へ大幅な増配を実施)

	期末配当金
期初予想	20円00銭
今回修正	60円00銭
前期実績(平成19年3月期)	50円00銭

### ■ アジア地域へのカジノ進出

積極的なカジノ進出を果たすためのプロジェクトチームを結成。企画、立案、各種交渉等、具体的に活動開始



## 【IV】ご参考

# 会社概要

〒135-0063

○本社 東京都江東区有明三丁目1番地25 有明フロンティアビル

○設立 1973年(昭和48年)6月

○取締役 代表取締役社長 余語 邦彦  
取締役会長 岡田 和生  
取締役 徳田 一  
取締役 堀 義人  
取締役 澤田 宏之

○従業員数 単体:941名、連結:1,274名(平成19年9月末現在)

○事業所 本社、全国26支店、2工場、3海外拠点

○発行済株式総数 80,195千株(平成19年9月末現在)

○株主数 5,862名(平成19年9月末現在)

○JASDAQ 6425 <http://www.aruze.com>

○お問い合わせ 弊社IR広報室 担当宛てにお願いいたします。

電話:03-5530-3055(代) メール:ir@aruze.com